

平成29年度 竹田教育事務所 重点指針

向上



子どもの力と意欲



向上



「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準



教育水準向上に向けた取組

1 学校マネジメントの深化

□「学校マネジメント4つの観点」に基づく指導・支援

- 観点Ⅰ：適切な取組指標の設定
- 観点Ⅱ：検証・改善サイクルの確立
- 観点Ⅲ：目標の連動
- 観点Ⅳ：チーム学校（新観点）

□目標達成マネジメントツールの整理・統合

- 各プランによる検証・改善サイクルの充実

□各種マネジメントツールを活用した校種間連携の推進

- 「学校評価の4点セット」による校種間連携の推進

□学校・家庭・地域の協働

- 目標協働達成の取組の推進

2 授業改善の徹底

□「付けたい力を意識した密度の濃い授業」の実現

- ◆「新大分スタンダード」で実現する主体的・対話的で深い学び
 - 「めあて・課題・まとめ・振り返り」の質の向上
 - 習熟の程度に応じた指導の工夫・改善
 - 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業の推進
 - 学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員等との連携による「新大分スタンダード」の徹底
 - 「中学校学力向上対策3つの提言」に基づく取組の推進

◆特別支援教育の視点からの授業改善

- ユニバーサルデザイン（UD）の視点を取り入れた学級経営・授業づくり
- 通常学級に在籍する教育的支援を必要とする児童生徒に対する「個別の指導計画」の作成促進

◆授業改善の取組を活かしたカリキュラム・マネジメントの推進

- 「授業改善の5点セット」の検証結果をカリキュラムに反映

3 体力向上の推進と健康課題への対応

□子どもの体力の底上げ

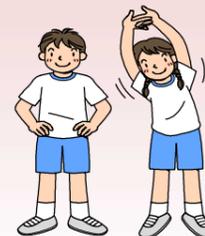
◆組織的な取組の推進

- 「体力向上プラン」の検証・改善サイクルの確立
- 体育専科教員や中学校体育推進教員の取組の普及
- 「分かる」「できる」「楽しい」授業の実践
- 体育の授業以外に位置付けた「一校一実践」の推進

□望ましい生活習慣・運動習慣の定着

◆家庭と協働した生活習慣の確立

- 食や睡眠などの生活習慣の改善
- 歯みがき指導、食に関する指導、フッ化物の活用の3本柱で進めるむし歯予防対策



4 いじめ・不登校対策等の推進

□いじめの未然防止、早期発見・早期対応、解消率の向上

◆組織的な取組の推進

- いじめ対策委員会の定期的な開催
- 学期1回以上のアンケート調査の実施

□不登校の未然防止・初期対応の徹底

◆新たな不登校を生まない未然防止の取組

- 「絆」と「居場所」を意識した学級づくり
- 生徒指導の3機能を意識した授業改善

◆組織的な取組の推進

- 不登校対策委員会の定期的な開催
- スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）等の専門スタッフを効果的に活用する体制整備
- 「不登校対策プラン」の検証・改善サイクルの確立
- 教育支援センター等との連携促進
- 地域不登校防止推進教員の支援

◆子どもの貧困対策に係る体制整備

- 福祉等関係機関との連携強化